

令和6年度

要 覧

群馬県生涯学習センター

令和6年度群馬県生涯学習センター運営方針・重点事項

運営方針

本センターは、群馬県の生涯学習推進の中核的施設として、市町村及び関係機関・団体等と連携を図りながら、県民の多様な学習ニーズや社会の要請に応える生涯学習・社会教育関係事業及び少年科学教育等を総合的に推進し、人生100年時代において、県民一人一人が生涯を通じたウェルビーイングの実現を図ることができるよう、学習支援及び人材育成等に努めていく。

重点事項

施設の活用促進

高齢者や幼児・児童を多く含む利用者の安全の確保に万全を期すとともに、県民の自主的な学習や文化活動を支援する「学習・交流・発表の場」として、利用者の立場に立ったサービスの向上に努め、施設のより一層の活用を図る。

また、施設が老朽化していることから、生涯学習課とともにセンターの今後のあり方を検討する。

生涯学習環境の整備

関係機関・団体等とも連携し、「ぐんま県民カレッジ」の改善、充実に努めるとともに、デジタル社会の利点活用の観点から、ICTを活用した学びの促進に努める。

人材育成の推進

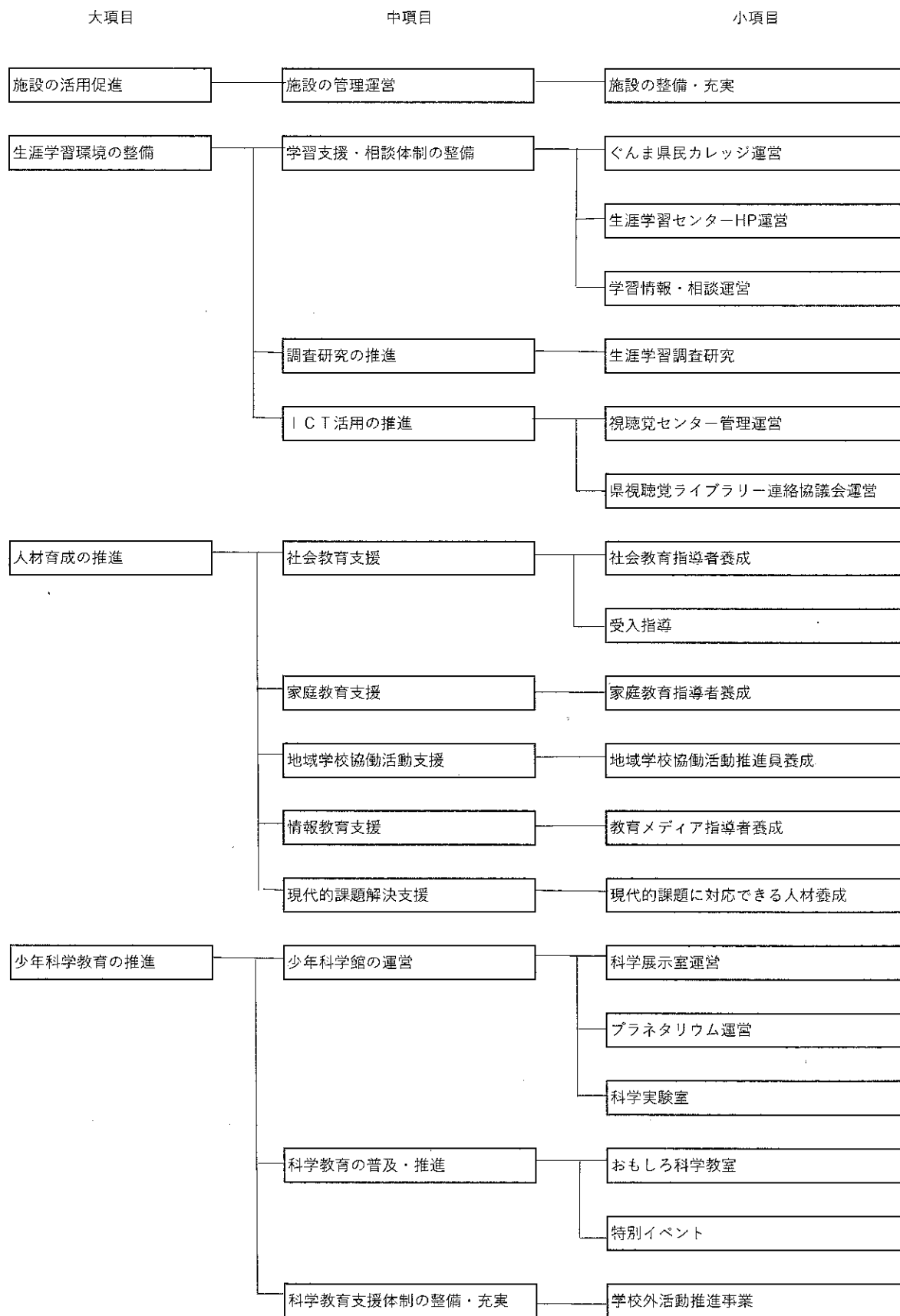
生涯学習・社会教育関係者が、学びの活動をコーディネートし、人々の自発的な学習を援助する役割を適切に果たすことができるよう、研修等を通じて、知識の深化と企画力、指導力の向上を図る。あわせて、家庭教育支援充実の観点から、支援に当たる人材の育成を図る。

社会が急速な変化を続け、VUCAの時代とも呼ばれる予測困難な時代において、社会的包摂とその実現を支える地域コミュニティの基盤整備やデジタル社会進展への対応等が課題となっている。生涯学習・社会教育がそうした課題に適切に対応できるよう、時宜にかなった学習機会・内容の提供に努める。

少年科学教育の推進

STEAM教育の観点等も踏まえ、科学展示室やプラネタリウム等の一層の活用を図るとともに、年間を通じて、継続的、体系的に科学の楽しさを体験できるイベントや企画を実施し、子供たちに「科学する心」や「学ぶ意欲」を育む。あわせて、県内各地で開催され、子供たちが身近で科学に接する機会である「おもしろ科学教室」の充実に努める。

I 令和6年度事業体系



II 令和6年度事業計画

1 施設の活用促進

(1) 施設の管理運営

事業名	事業概要	実施時期
施設の整備・充実	○施設の整備・充実 安全で快適な生涯学習施設となるよう、整備・充実、維持・管理に努める。また、いつでも、どこからでもインターネットを通じて予約できる「群馬県公共施設予約システム」による受付など、利用者のためのサービス向上を図る。	通年

2 生涯学習環境の整備

(1) 学習支援・相談体制の整備

事業名	事業概要	実施時期
ぐんま県民カレッジ運営	県民の多様な学習ニーズに対応するため、関係機関と連携し、学習サービスを総合・広域的に提供する体制の整備・充実を図る。	通年
	○「ぐんま県民カレッジ」運営 「ぐんま県民カレッジ」の事務局として、ぐんま県民カレッジ Web ページ(群馬県生涯学習情報提供システム)やスタンプ手帳等の管理運営をする。	通年
	○ぐんま県民カレッジ地域委員会 ぐんま県民カレッジ事務局と各教育事務所・市町村教育委員会との効果的な連携を図るため、具体的な課題や対応策等に関する協議を行う。	利根 4月5日(金) 吾妻・東部 4月16日(火) 中部 4月17日(水) 西部 5月21日(火)
	○ぐんま県民カレッジ奨励賞授与式 ぐんま県民カレッジで学習した累積単位数が 100 単位(妙義賞)、300 単位(榛名賞)、500 単位(赤城賞)に達した在学者に対して、求めに応じて奨励賞を交付する。	1月25日(土)
生涯学習センターHP運営	コンテンツの更新、サイトの管理・運営を行うとともに、情報セキュリティを確保する。	通年
	○生涯学習センターHP管理運営 生涯学習センターのHPを管理・運営する。また、ユーザビリティ及びウェブアクセシビリティの質的向上を図る。	
	○端末機器管理(情報セキュリティ) 外部からのファイル收受の際のウイルス感染を防止するとともに、ウイルス感染発見時の対処法の係員への周知徹底を図る。	
学習情報・相談運営	県民の生涯学習を迅速かつ適切に支援するため、多様なニーズに対応した学習情報の提供に努める。 また、生涯学習関連図書資料を収集・整備し、県民及び社会教育行政職員等の調査・研究等を支援する。 さらに、育児学習室を乳幼児同士の遊び、ふれあい、保護者同士の情報交換の場として家庭教育支援を行う。	通年
	○ぐんま県民カレッジ Web ページ 県内の講座、イベント、展示会等の学習機会に関する情報、ボランティア講師の情報、学習サークル・団体の情報を収集、発信することで県民カレッジ Web ページ(群馬県生涯学習情報提供システム)の活用促進を図る。	通年
	○図書資料・図書資料コーナー 生涯学習関連書籍・資料等を計画的に収集・整備し、県民の学習活動及び社会教育行政職員の調査研究等を支援する。 ・開設曜日：休館日を除く毎日 ・開設時間：9:00～12:00 13:00～17:00	通年
	○育児学習室・保健室・ボランティア室 乳幼児をもつ保護者等に対して、子育てに関する諸問題の解決に向けた情報交換の場や乳幼児同士の交流の場を提供する。また、子育て支援ボランティア等による遊びや交流、育児に関する相談などを通して子育て支援を行う。 [育児学習室] ・開設曜日：休館日を除く毎日	通年

<ul style="list-style-type: none"> ・開設時間：9:30～12:00 13:00～17:00 [ワクわく子育て相談] ・ボランティアによる相談：火曜日～土曜日 10:00～11:30 ・テーマ別相談：水曜日 9:30～16:00 [保健室] 入館者等の事故や病気が発生したとき、緊急に対処する。 [ボランティア室] 子育て支援ボランティアやイベントボランティア団体が活動記録作成や打合せなどに利用する。 	通 年
<p>○学習相談</p> <p>県民の多様な生涯学習活動を支援するため、電話、直接面談等を通して、各種の学習情報提供や学習相談を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設曜日：休館日を除く毎日 ・開設時間：9:00～17:00 ・生涯学習電話相談：電話：027-224-3541 	通 年

(2) 調査研究の推進

事業名	事業概要	実施時期
生涯学習調査研究	県内外の生涯学習・社会教育に関する実態等を調査・分析し、生涯学習・社会教育振興のための基礎データとする。	通 年
	○生涯学習基礎調査 本県の生涯学習・社会教育推進に資する基礎データの調査研究を行う。	10月～3月
	○「生涯学習ぐんま」作成 県内外の生涯学習・社会教育に関する最近の動向や先導的事業を紹介するとともに、本センターにおける新たな取組と成果等の内容とする生涯学習情報誌を作成しWeb公開する。	3月

(3) ICT活用の推進

事業名	事業概要	実施時期
視聴覚センター管理運営	生涯学習センター内に設置している視聴覚センターにおいて、視聴覚教育に係る各種事業を実施するとともに、視聴覚教育の推進に関する各種の条件整備を図る。	通 年
	○視聴覚教材・機材の貸出等 視聴覚教材・機材を活用した生涯学習活動の支援のため、県視聴覚センターが保有する貸出用教材・機材の整備・充実を図る。さらに、学校や社会教育団体等を対象として、その貸出や教材のメディア変換及びコピーサービス等を実施する。	通 年
	○県視聴覚センター資料選定委員会 視聴覚資料の整備充実と利用の促進を図るため、県視聴覚センターが購入する貸出用視聴覚資料を選定するための協議を行う。	6月
	○視聴覚資料活用プログラム 視聴覚センターが所蔵する視聴覚資料の活用を通して、資料のおもしろさや価値に気付くとともに、県内の自然、歴史、文化等に親しむ機会を提供する。	9月28日(土)
	○ぐんまファミリー映画会 少年科学係主管の「夏とくイベント」と連携し、視聴覚センターが所蔵する本県の文化・歴史・自然などに関する映画やアニメ映画など、家族で楽しめる映画会を実施する。	7月20日(土) ～21日(日)
	○16mmフィルムデジタルコンテンツ化 センター所蔵の16mmフィルムのうち、群馬県の自然、歴史、文化、習俗等を記録した資料的価値の高い作品を高画質デジタル化し、長期保存と活用促進に資する。	通 年
県視聴覚ライブラリー連絡協議会運営	社会教育や学校教育において、広く教育メディアを活用して学習効果を高めるため、視聴覚機器や教材の取り扱いに必要な知識と技能の習得を通して視聴覚教育の振興を図る。	通 年
	○事務局運営 本県の視聴覚教育の振興のため、県内視聴覚ライブラリー及び視聴覚教育団体の連絡・調整及び活動の促進を図る連絡協議会の事務局運営を行う。	通 年
	○教育メディア指導者養成講座 後記「2 人材育成の推進 (3)情報教育支援」に記載	

3 人材育成の推進

(1) 社会教育支援

事業名	事業概要	実施時期
社会教育指導者養成	県及び市町村教育委員会に属する社会教育行政職員・社会教育主事等を対象として、社会教育・生涯学習行政推進のための必須能力の向上を図る。	6月～12月
	○社会教育推進セミナー 生涯学習・社会教育全体の動向及び各市町村の現状を踏まえ、課題解決に向けた関係者の資質向上を図る研修を実施する。 ・対象：県及び市町村生涯学習・社会教育行政担当職員、公民館職員等 ・定員：会場50名 オンライン90名	単独講座 5月31日(金) 6月13日(木) 6月18日(火) 7月2日(火)
	○社会教育実践研修 県及び市町村職員の生涯学習、社会教育担当者等に求められる基本的、実践的な知識、技術に関する研修を行う。 ・対象：県及び市町村生涯学習・社会教育行政担当職員、公民館職員等 ・定員：会場20名 一部オンライン参加可能	連続講座(5回) 7月10日(水) 8月29日(木) 9月10日(火) 10月22日(火) 12月3日(火)
受入指導	青少年、社会教育を専攻している学生等に社会教育の現場での実習を実施し、生涯学習センター業務に関する学ぶ機会を提供する。	通年
	○社会教育実習生受入 社会教育法第9条の2に規定する社会教育主事の資格取得をめざす大学の学生を対象として、生涯学習センターが行う事業や実務の実際を通して、社会教育主事としての基本的な理解と実践的な能力の養成を図るための受入を行う。	8月20日(火) ～24日(土)
	○インターンシップ実習生受入 若年者のキャリア形成を支援するため、依頼のあった学生の就業体験実習の受入を行う。	同上
	○青少年の体験学習受入指導 望ましい職業観・勤労観を育むようにするため、希望のあった中学校、高等学校の職場体験学習の受入を行う。	通年

(2) 家庭教育支援

事業名	事業概要	実施時期
家庭教育指導者養成	地域における家庭教育支援において、中核的な役割として活動する家庭教育支援者に必要な資質の獲得・向上を図る。	6月～10月
	○家庭教育支援幼児安全セミナー 県医務課と連携し、急病の対処法や救急受診の必要性等の知識を深めるとともに、県内の小児医療の現状についての講演会を行う。 ・対象：社会教育・学校教育関係者、家庭教育支援活動を実践しているNPO・ボランティア団体関係者及び家庭教育支援活動に関心のある方等 ・定員：会場40名 オンライン40名	6月22日(土)
	○家庭教育支援者養成講座 地域で家庭教育支援の取組を広げるため、家庭教育支援の概要や実践のための知識・技能の習得に係る研修を行い、家庭教育支援の人材を養成する。 ・対象：家庭教育支援に係る行政担当者、NPO・ボランティア団体関係者及び家庭教育支援に関心のある方等 ・定員：会場50名	連続講座(5回) 8月22日(木) 9月6日(金) 9月27日(金) 10月9日(水) 10月17日(木)
	○ワクワク子育てトークキングファシリテーター養成講座 「ぐんまの親の学びプログラム」のファシリテーター(進行役)としての知識や技能等について研修を行い、各地域においてファシリテーターとして活躍できる人材を養成する。 ・対象：ファシリテーター未経験の社会教育関係職員 ファシリテーターに関心のある方等 ・定員：20名	基礎編 6月19日(水) ステップアップ編 6月26日(水)
	○群馬県民の日記念事業 親子で一緒に楽しみながら活動することを通して、親子が触れ合う機会をつくり、家庭教育支援の一助とする。	10月26日(土)

(3) 地域学校協働活動支援

事業名	事業概要	実施時期
地域学校協働活動推進員養成	地域学校協働活動を推進し、充実した活動を実施するために、地域学校協働活動推進員等のコーディネーターの資質向上及びスキルアップに資する研修を行う。	11月～12月
	○地域学校協働活動推進員等スキルアップ講座 地域学校協働活動を推進する上で重要な地域学校協働活動推進員（以下推進員）等のコーディネーターの養成と、そのネットワークづくりを図る。 ・対象：推進員、地域コーディネーター、ボランティア等のうち、概ね3年以上活動を行っている者 ・定員：20名	連続講座（2回） 11月8日（金） 11月26日（火）

(4) 情報教育支援

事業名	事業概要	実施時期
教育メディア指導者養成	社会・学校教育におけるICT教育メディアの意義、役割及びその活用方法についての理解を図り、専門的な技術と見識を備えることにより、本県におけるICT教育を振興するための中核的な指導者の育成を図る。	7月～12月
	○教育メディア指導者養成講座 視聴覚教育の概論、16mm映写機の操作技術及び、著作権やICTの最新の動向や専門的な知識についての研修を通し、16mm映写操作技術者や本県の視聴覚教育の中核的な指導者の養成を図る。 ・対象：社会教育・学校教育関係者等 ・定員：30名	連続講座（2回） 7月26日（金） 8月1日（木） 16mm技能講習 12月21日（土）

(5) 現代的課題解決支援

事業名	事業概要	実施時期
現代的課題に対応できる人材養成	現代的な課題解決に係る知識・手法を、講義・ワークショップなどの研修をとおして学習し、課題解決に資する人材を育成する。	7月～12月
	○現代的課題解決支援講座「地域課題」 ・テーマ：未定 ・対象：社会教育、行政担当者、地域づくり活動を実践しているNPO・ボランティア団体関係者及び地域づくりに関心のある方等 ・定員：30名程度	連続講座（全3回） 9～12月
	○現代的課題解決支援講座「地域と学校の連携・協働」 ・テーマ：放課後の体験活動について ・対象：放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ関係者、幼稚園・保育園・こども園・小学校・学校支援センターコーディネーター・ボランティア、学社連携推進担当教諭、市町村教育委員会担当者等 ・定員：会場110名 オンライン90名	単独講座 6月27日（木） 9月20日（金）

3 少年科学教育の推進

(1) 少年科学館の運営

事業名	事業概要	実施時期
科学展示室 運営	科学的な事象に対して、子どもたちが「なぜ」「どうして」などの疑問を抱いたり、「そうか」「なるほど」などの発見をしたりして、科学に対する興味・関心を高める体験ができるように展示物の活用を図りながら、県民に親しまれる科学館運営を行う。展示物の老朽化に対応した点検、修繕を実施し、展示物の更新に努める。	通 年 (開館は休館日・整備点検日を除く毎日)
	○展示物の整備・更新・活用 ・科学の基礎を学ぶコーナー (もしもしパラボラ等 15 点) ・生活を科学するコーナー (フライトミュルタ、地球冒険号Ⅱ等 9 点) ・夢と遊びのコーナー (ポット「ひかる」等 7 点) ・特設コーナー (クントの実験装置等 6 点)	通 年
	○しらべコーナー ・科学に関する書籍の閲覧、DVDなどの視聴ができる。	通 年
	○実験コーナー 科学の驚きや楽しさ、達成感を味わえる科学工作を月ごとにテーマを変えて実施する。短時間で簡単に作成でき、親子で楽しめる題材を扱う。	土曜日 14:30～15:30
	○サイエンスショー 科学の驚きや楽しさを見て楽しめる実験ショーを実施する。	第 2 土曜日 ① 13:10～13:20 ② 14:10～14:20 ③ 15:10～15:20
	○サイエンスボランティアコーナー 科学の驚きや楽しさ、手作業の達成感等を味わえる機会を充実させるとともに、ボランティアの有効活用を図るため、ボランティアの多い日に簡単な科学工作を実施する。	土日曜日 土曜 10:30～11:30 日曜 10:30～11:30 14:30～15:30
プラネタリウム 運営	プラネタリウムホールでの番組投影を中心に、天文コーナーでの 4 次元デジタル宇宙シアターを活用した解説の視聴、天体観測会などを通して、青少年の天文に対する興味・関心を高めるとともに、自然に対する豊かな心情を育む。また、このような天文教育の機会の拡充に努める。	通 年 (投影日は休館日・整備点検日を除く毎日)
	○プラネタリウム投影 <一般投影> 通年の番組と季節ごとの番組を投影、番組冒頭に季節ごとの星座解説を行う。 ・土・日・祝休日及び学校長期休業期間は、1日4回投影 ・平日は学校・園・団体利用4回、一般投影1回 ・収容人数：200名、観覧料：300円、中学生以下無料	通 年 平日 15:30～16:10 土日祝 11:00～11:40 13:30～14:30 14:30～15:30 15:30～16:10
	<学校・園・団体利用> 発達段階や実態に応じた手動投影やプラネタリウム番組の投影を行う。小・中・高・特別支援学校には、理科学習の補充・発展に係る内容や、実際の星空を観察する動機付け等、天文に関する教育活動を支援するため、各学校等の要望に応じた手動投影を行う。	通 年 平日 (要予約)
	<天文コーナー> 3D映像による天体シミュレーションソフトを用いて、天文学の最新の成果をわかりやすく解説する。	通 年 (日 14:05～14:25)
	<星空と音楽の集い> プラネタリウムで星空を投影しながらBGMとしてリラックスする音楽を流し、星空への興味・関心を高めるとともに癒やしの場を提供する。	月 2 回、 (金・日曜日) 15:30～16:00
	<親と子のプラネタリウム> 泣いたり声をあげたりしてもお互い様をモットーに、子育て中の家族が乳幼児を連れてプラネタリウムを楽しみ、星空に親しむ機会を提供する。	全 6 回 11:00～11:30
	<天体観察会> 青少年の天文への興味関心を高めるため、月食などの天体ショーや最新の天文ニュースなどにも焦点を当てながら、季節ごとに観察会を実施する。	5月17日(金) 11月8日(金) 12月13日(金) 3月7日(金)

プラネタリウム 運営(続)	<こども宇宙教室> 青少年の天文への興味関心を高めるため、ぐんま天文台と連携・協力して宇宙や天文に関する講演会をプラネタリウムホールで実施する。	5月11日(土) 7月21日(日) 1月25日(土)
	○県プラネタリウム連絡協議会 県内プラネタリウム9館とぐんま天文台による群馬県プラネタリウム連絡協議会の事務局として、各施設のハード・ソフトの効率的運用を図るためのネットワークの整備・充実を図る。	4月11日(木) 6月13日(木) 9月26日(木) 1月16日(木)
科学実験室 運営	青少年の学校外活動として実施する「おもしろ科学教室」や、学校等の体験学習の実施会場として活用するとともに、利用者の多様なニーズに応えられるよう、計画的に観察・実験機器等の整備・充実を図る。	通 年
	○学習プログラムの提案・実施 新学習指導要領による「理科」や「総合的な学習の時間」等に対応するため、少年科学館の施設・設備を効果的に活用するための学習プログラムを提案し、学校の教育活動における利用促進を図る。	通 年

(2) 科学教育の普及・推進

事業名	事業概要	実施時期
おもしろ科学教室	青少年の「科学する心」を育むため、県内各地の関係機関等と連携して、科学実験や科学工作・野外観察などの体験活動を、年間を通して全県的に実施する。	通 年 (主に土曜日)
	○おもしろ科学教室(センター開催) 年間を通じて多様な実験や工作を体験できる機会を設け、継続的に子どもたちの創造性や問題解決能力を高めるようにする。また、センター開催の機会を生かして、教材開発を進める。 ・年間事業数：68回 ・連携機関数：40	毎月1回 5月～12月 土曜日
	○サイエンスインストラクターの会 おもしろ科学教室の指導・運営を行うサイエンスインストラクターの会の本部事務局として、質の高い指導がなされるように各支部及びおもしろ科学教室の指導者との連携を強化し、教材研究を支援する。 科学教室事業に関する題材の扱い方や、材料などの準備の仕方等の情報提供を行う。	通 年
	○科学教室運営協力者会議 科学教室の効果的な運営を図るため、実施計画、実施方法について、科学教育に携わる有識者や実際の運営に関わる指導者等を交えて、諸課題・対応策等について、検討・協議する。 ・実施計画案、実施方法等に関する運営の検討 ・連携機関と指導者の調整にかかわる課題の協議	4月13日(土) 10月5日(土)
	○おもしろ科学教室事業連携機関担当者会議 おもしろ科学教室の運営に当たり、事業説明、実施までの流れと役割を確認し、次年度の実施に向けて共通理解を図る。また、連携機関同士の交流を図り、運営のノウハウを共有し、より効果的な事業運営に向けて協議する。	5月9日(木) 10月10日(木)
特別イベント	少年科学館の施設や人的資源を最大限活用し、さらに県内の博物館等の施設や団体、企業、大学、専門学校、高校等と連携しながら、青少年が科学の楽しさやおもしろさを体験できるイベントを、年間を通して開催する。	通 年
	○ゴールデンウィーク特別イベント 科学工作や化学実験を体験したり、プラネタリウムに親しんだりする体験を通して、子どもたちが科学のおもしろさや自然の不思議さに気付く機会とする。	4月27日(土) 4月28日(日)
	○夏とくイベント 青少年が科学の楽しさ・おもしろさ、自然法則や科学技術の不思議さ・巧妙さを体験できる科学実験、科学工作等の特別企画事業を夏休み中に実施する。また、県内の公設試験場等との連携を生かし、県内の研究活動や成果などを広く県民に知らせる機会とする。	7月20日(土) 7月21日(日) 7月23日(火) 7月24日(水) 7月25日(木)

特別イベント (続)	○県民の日特別イベント 広く一般県民に対して、プラネタリウムに親しむ機会や科学工作にチャレンジする機会を設け、天体への興味・関心や身の回りの事象に対する科学的な見方や考え方を育む場とする。	10月26日(土) 10月27日(日) 10月28日(月)
	○新年特別イベント 親子でプラネタリウムや科学工作を楽しむ機会とし、科学への興味・関心を高める機会とする。	1月11日(土) 1月12日(日)
	○こども科学博物館 太古の生き物の化石や地質資料に触れ、レプリカを製作したり調べたりする活動を通して、自然の事象について子どもたちの興味・関心を高める機会とする。	6月1日(土) 1月12日(日)
	○他機関との連携・協力 県内科学館・博物館等の施設や団体、企業、高校、大学等との連携を強化するため、情報提供等の整備・充実を図る。	通 年

(3) 科学教育支援体制の整備・充実

事業名	事業概要	実施時期
学校外活動 推進事業	青少年の科学・科学技術に関わる学校外活動の充実を図るため、科学教室の指導者育成・教材開発の取組や青少年の理科学研究の取組を支援する。	通 年
	○科学教室実技研修会 科学教室指導者の資質向上を図るための研修会を実施する。 対象：学校教職員、社会教育施設職員、サイエンスインストラクターの会会員、県民一般	2月15日(土)
	○教材検討委員会 科学教室の内容の充実を図るため、新しい知見や子どもたちの実態を考慮した教材の改良や工夫を行い、新たな教材の提案を行う。	毎月1回 5月～12月
	○児童生徒理科学研究相談会 本県の理科教育の振興に資するため、小・中学生の理科に対する興味・関心を高めるため、夏休みの理科自由研究を行うときの研究テーマの選び方、研究計画の立て方、研究の進め方やまとめ方等について、個別的・具体的な相談会を実施する。	7月21日(日)

Ⅲ 令和5年度事業実績

1 生涯学習環境の整備

(1) 学習支援・相談体制の整備

事業名	実施概要
ぐんま県民カレッジ運営	<p>○「ぐんま県民カレッジ」運営（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携機関数：540 機関 ・年間講座数：287 件 ・奨励賞授与者数（令和5年度／累計） <ul style="list-style-type: none"> [妙義賞（100単位）] 7名／353名 [榛名賞（300単位）] 10名／154名 [赤城賞（500単位）] 6名／104名
	<p>○ぐんま県民カレッジ地域委員会（県内5会場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地区：4月18日（前橋合同庁舎） ・西部地区：5月18日（高崎合同庁舎） ・吾妻地区：4月18日（婦恋会館） ・利根地区：4月6日（利根沼田振興局） ・東部地区：4月18日（太田合同庁舎）
	<p>○ぐんま県民カレッジ奨励賞授与式</p> <p>[会場] 群馬県生涯学習センター：多目的ホール [開催日] 1月27日</p>
学習情報・相談運営	<p>○群馬県生涯学習情報提供システム「ぐんま県民カレッジ Web ページ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間アクセス件数：9,654 件
	<p>○図書資料・図書資料コーナー（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習関連図書・資料 17 点 県内外図書数 437 点 計 454 点
	<p>○育児学習室（通年）</p> <p>[利用者数] 5,364 名 [育児相談数] 579 件</p>
	<p>○保健室（通年）</p> <p>[利用者数] 60 名</p>
	<p>○ボランティア（通年）</p> <p>[ボランティア登録人数] 25 名</p>
	<p>○学習相談（通年）</p> <p>県民の生涯学習を支援するため、電話、面談等により、学習情報の提供や学習相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報・相談フロア図書資料等の購入・整備 ・育児学習室の運営整備 ・学習相談件数（電話を含む） 162 件

(2) 調査研究の推進

事業名	実施概要
生涯学習調査研究	<p>○生涯学習基礎調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の取組等に関わる実態調査 ・実施時期：10～12月
	<p>○「生涯学習ぐんま(58号)」作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特集テーマ：社会的包摂と公民館 ・発行：3月／デジタル配信

(3) ICT活用の推進

事業名	実施概要
視聴覚センター管理運営	<p>○視聴覚教材・機材の貸出等 (通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材：1,986点 (内訳：館外 125点／館内 1,861点) (種別内訳) 16ミリ：31 (31/0)、ビデオ：157 (2/155) DVD・BD：1,589 (92/1,497)、CD：209 (0/209) その他：0 (0/0) ・視聴覚機器：916件 (種別内訳) 16ミリ映写機：30、液晶プロジェクター：146、スクリーン：54、ノートパソコン：230 映像音声再生機器：13、Wi-Fiルーター：25、その他：418 <p>○県視聴覚センター資料選定：選定者8名／選定期間6～7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定資料(新規購入資料)：DVD 3作品 <p>○視聴覚資料活用プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> [開催日] 10月21日 [会場] 群馬県生涯学習センター多目的ホール [対象] 県民一般 [参加人数] 103名 [内容] 16ミリフィルム「日本の太鼓」上映 和太鼓演奏 鼓楽衆 滝 <p>○ぐんまファミリー映画会</p> <ul style="list-style-type: none"> [実施期間] 7月22日～7月23日 [参加人数] 89名 <p>○派遣型オンライン研修実践講座</p> <ul style="list-style-type: none"> [内容] ・ノートパソコン、液晶プロジェクター、Wi-Fiルーター、各種ケーブル等の貸出し ・会場設営の支援 ・オンライン研修会運営に係る助言 生涯学習課及び教育事務所主催の研修会の運営補助、市町村や公民館等への助言、Zoomアカウントの取得 [実施数] 5回
県視聴覚ライブラリー連絡協議会運営	<p>○協議会運営事務</p> <ul style="list-style-type: none"> [県内加盟団体数] 13機関 [総会開催日(書面開催)] 5月25日(表決日) <p>○県自作視聴覚ソフトコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> [募集期間] 10月～12月 [審査会] 1月18日 [表彰・発表] 3月2日 [募集部門] 一般部門・児童生徒部門 [応募点数] 14点 [入賞・入選数] 最優秀賞 2点／優秀賞 2点／入選 4点 <p>一般部門</p> <ul style="list-style-type: none"> 〈最優秀賞〉 該当なし 〈優秀賞〉 「館林の里沼」 滝沢 昌之 (音楽家) 〈入選〉 「山名八幡宮を訪ねて」 萩原 岩雄 (高崎ビデオクラブ) 「ハスの植え替えから開花までの記録」 萩原 陽子 (高崎ビデオクラブ) <p>児童生徒部門</p> <ul style="list-style-type: none"> 〈最優秀賞〉 「あなたならどうする？」 伊勢崎市立第四中学校 生徒会本部 〈優秀賞〉 「歯みがきビデオ」 佐藤 香 (桐生市立北小学校保健委員会) 〈入選〉 該当なし <p>○教育メディア指導者養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 後記「2 人材育成の推進 (3)情報教育支援」に記載

2 人材育成の推進

(1) 社会教育支援

事業名	実施概要
社会教育指導者養成	<p>○社会教育推進セミナー 生涯学習・社会教育の最近の動向を踏まえ、生涯学習、社会教育担当職員等に求められる基本的、実践的な知識、技術について研修を実施。 [開催日] ①6月2日 ②6月9日 ③6月16日 ④7月7日 [会場] ①②④群馬県生涯学習センター多目的ホールほか ③利根沼田振興局庁舎 [対象] 生涯学習・社会教育行政担当職員 [受講者数] 延べ参加者数 133名 (参集52名 オンライン81名) [内容] 講義 ① 「中央教育審議会における議論と今後の生涯学習・社会教育の政策動向について」 講師：神山 弘 氏 (文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 課長) ② 「社会のウェルビーイングを支える生涯学習—社会教育に期待されること—」 講師：坂口 緑 氏 (明治学院大学 社会学部社会学科 教授) ③ 「ファシリテーション演習」 講師：秦野 玲子 氏 (RE Learning 代表) ④ 「障害者の生涯学習推進の必要性と課題」 講師：津田 英二 氏 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授)</p> <hr/> <p>○社会教育実践研修 県及び市町村教育委員会に属する社会教育行政職員・社会教育主事等を対象として、社会教育・生涯学習行政推進のための資質能力の向上を図る研修を実施。 [開催日] ①8月10日 ②8月31日 ③9月15日 ④11月2日 ⑤12月6日 [会場] 群馬県生涯学習センター多目的ホール [対象] 生涯学習・社会教育行政担当職員 [受講者数] 延べ参加者数 62名 ①9名 ②12名 ③16名 ④13名 ⑤12名 [内容] 講義・演習 ① 「エビデンスを生成するための基本的な考え方とその活用方法①」 講師：郡谷 寿英 氏 (北海道科学大学 全学共通教育部 講師) ② 「エビデンスを生成するための基本的な考え方とその活用方法②」 講師：郡谷 寿英 氏 (北海道科学大学 全学共通教育部 講師) ③ 「社会教育施設における障害者の生涯学習の充実に向けた立案①」 講師：川田 貴之 氏 (国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター専門調査員) 講師：大森 梓 氏 (NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会 代表理事) ④ 「社会教育施設における障害者の生涯学習の充実に向けた立案②」 講師：川田 貴之 氏 (国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター専門調査員) ⑤ 「社会教育施設における障害者の生涯学習の充実に向けた立案③」 講師：川田 貴之 氏 (国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター専門調査員)</p>
受入指導	<p>○社会教育実習生受入指導 [実施期間] 8月22日～26日 (5日間) [対象・人数] 群馬大学共同教育学部4年生 1名</p> <hr/> <p>○インターンシップ受入指導 [実施期間] 希望なし [対象・人数] 0名</p>
青少年体験学習等受入指導	<p>○中学生・高校生短期就業体験 前橋市立第五中学校 1年生 13名 (9月12日～13日) 太田市立太田中学校 1年生 11名 (11月28日) 県立伊勢崎商業高等学校 1年生 3名 (12月5日～6日) 県立聾学校 中学部1年生 2名 (2月1日～2日)</p>

(2) 家庭教育支援

事業名	実施概要
家庭教育指導者養成	<p>○家庭教育支援幼児安全セミナー 子育て中の親や子育て支援関係者が、幼児の病気にかかる緊急時の対応について、医師による講義をとおして基本的な知識を学ぶ研修を実施。 [開催日] 6月17日 [会場] 群馬県生涯学習センター多目的ホールほか [対象] 子育て中の親、子育て支援活動実践者及び予定者、行政関係者等 [受講者数] 33名(参集8名 オンライン25名) [内容] 「小児科医が教える幼児の病気と対処方法」 講師：西澤 拓哉 氏(群馬大学医学部附属病院 小児科)</p> <hr/> <p>○家庭教育支援者養成講座 家庭教育に関する知識や技能についての研修を行い、地域で活動できる人材の育成を実施。 [開催日] ①8月25日 ②9月7日 ③9月28日 ④10月14日 ⑤10月19日 [会場] 群馬県生涯学習センター：多目的ホールほか [対象] 家庭教育支援に興味、関心のある方 学校教育関係者(PTA、学校支援ボランティア等) 社会教育関係者(青少年教育団体等各種団体、社会教育委員等) 民生・児童委員 家庭教育・子育て支援を行っている方 [受講者数] 延べ参加者数 174名(参集95名 オンライン79名) ① 26名(参集15名 オンライン11名) ② 26名(参集26名) ③ 55名(参集25名 オンライン30名) ④ 33名(参集13名 オンライン20名) ⑤ 34名(参集16名 オンライン18名) [修了者] 11名 [内容] 講義・演習 ① 「家庭教育支援の現状と課題」 講師：松田 恵示 氏(東京学芸大学 理事・副学長・教授) ② 「親子のコミュニケーションに関する理解とスキルの向上」 講師：井澗 知美 氏(大正大学 心理社会学部 臨床心理学科 教授) ③ 「ヤングケアラーの実態、支援の在り方」 講師：堀越 栄子 氏(一般社団法人 日本ケアラー連盟 代表理事・日本女子大学 名誉教授) ④ 「子育て困難家庭の早期発見・早期支援」 講師：倉石 哲也 氏(武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授) ⑤ 「今なぜ、家庭教育支援?～つながることの大切さ～」 講師：上田 さとみ 氏(湯浅町子育て・家庭教育支援チーム リーダー)</p> <p>○ワクわく子育てトークンファシリテーター養成講座 「ワクわく子育てトークン～ぐんまの親の学びプログラム～」のファシリテーター(進行役)としての知識や技能等について研修を実施。 [開催日] 基礎編 ①6月14日 ステップアップ編 ②6月28日 [会場] 群馬県生涯学習センター：多目的ホール [対象] 社会教育関係行政職員及び一般県民 [受講者数] 基礎編【センター会場】41名 【館林会場】3名 ステップアップ編 31名 [修了者] 基礎編【センター会場】41名 【館林会場】3名 ステップアップ編 31名 [内容] 演習 ① 「ワクわく子育てトークン体験」</p>

家庭教育指導者養成(続)	<p>「ファシリテーターの役割」 「ファシリテーターに役立つコミュニケーション」</p> <p>②「アイスブレイクの説明と実技」 「グループ別ファシリテーター体験」</p> <p>③「アイスブレイク実技」</p> <p>④「ファシリテーター実技」</p> <p>講師及びファシリテーター：当センター社会教育主事</p> <hr/> <p>○群馬県民の日記念事業 家庭教育支援の一環として、親子でバルーンアートづくりを楽しむ場を提供することにより、よりよい親子関係を築き家庭の健全化を図る事業を実施。</p> <p>[開催日] 10月28日 [対象] 県内在住の3歳以上の子どもとその保護者(保護者同伴が原則) [受講者数] 43名(子供 24名 大人 19名) [内容] 親子でチャレンジ!バルーンアートをつくろう</p>
--------------	--

(3) 地域学校協働活動支援

事業名	実施概要
地域学校協働活動指導者養成	<p>○地域学校協働活動推進員等スキルアップ講座 地域学校協働活動を推進し、充実した活動を実施するために、地域学校協働活動推進員等のコーディネーターの資質向上及びスキルアップに資する研修を実施。</p> <p>[開催日] ①11月30日 ②12月13日 [会場] 群馬県生涯学習センター多目的ホール [対象] 地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター及びボランティア等のうち、概ね3年以上活動を行っている方 [受講者数] 延べ参加者数 50名 ①24名 ②26名 [内容] 情報交換・講義・演習</p> <p>①「情報交換」 「地域学校協働活動をブラッシュアップしよう①」 講師：井上 昌幸 氏(栃木県総合教育センター生涯学習部長)</p> <p>②「地域学校協働活動をブラッシュアップしよう②」 講師：井上 昌幸 氏(栃木県総合教育センター生涯学習部長)</p>

(4) 情報教育支援

事業名	実施概要
教育メディア指導者養成	<p>○教育メディア指導者養成講座 学校教育、社会教育において、広く教育メディアを活用して学習効果を高めるため、視聴覚機材・教材の取り扱いに必要な知識と技能を習得した指導者を養成する研修を実施。</p> <p>[開催日] ①7月28日 ②8月3日 ③8月4日 ④12月23日 [会場] 群馬県生涯学習センター：多目的ホール、第1研修室 [対象] 社会教育・学校教育関係者及び県民一般 [受講者数] 延べ参加者数 56名 ①19名 ②17名 ③12名 ④8名 [内容] 講義・演習・実習</p> <p>①「視聴覚教育メディア総論・情報モラルと著作権」 「16ミリ映写機操作技術認定講習」 講師：立見 康彦 氏(群馬大学共同教育学部 大学院教育学研究科 客員教授)</p> <p>②「地域と学校が連携してプログラミング教育を進める意義」 「小学校でのプログラミング教育を体験(5年算数・6年理科)」 講師：福田 晴一 氏(特定非営利活動法人 みんなのコード 指導者養成主任講師) 中山 晶代 氏(吉岡町立明治小学校教諭) 蜂須 賀康太 氏(吉岡町立駒寄小学校教諭)</p>

	③「小学校と連携した公民館プログラミング講座」 「小学校と連携した公民館プログラミング講座の企画・立案」 講師：福田 晴一 氏（特定非営利活動法人 みんなのコード 指導者養成主任講師） ④「視聴覚教育メディア総論・情報モラルと著作権」 「16ミリ映写機操作技術認定講習」 講師：立見 康彦 氏（群馬大学共同教育学部 大学院教育学研究科 客員教授）
--	--

(5) 現代的課題解決支援

事業名	実施概要
現代的課題に 対応できる人 材養成	○課題解決支援講座(地域課題) 地域課題解決に係る知識・手法を、講義・ワークショップなどの研修を通して学習し、地域課題解決に資する人材を育成する [開催日] 12月20日 [会場] 群馬県生涯学習センター第1研修室 [対象] 社会教育団体関係者、社会教育行政職員（公民館等施設職員、教委事務局職員）、地域づくり関係部局職員、団体関係者、自治会関係者、地域づくりに興味のある方 [受講者数] 17名（参集10名 オンライン7名） [内容] 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」
	○課題解決支援講座(地域と学校の連携・協働) 放課後子ども教室や学校支援センター、放課後児童クラブ等、学校や子どもたちの教育活動を調整するコーディネーター等の養成やその資質・能力の向上を図るための研修を実施。 [開催日] ①7月12日 ②9月1日 [会場] 群馬県生涯学習センター多目的ホールほか [対象] 放課後子ども教室（土曜学習を含む）コーディネーター 教育活動推進員（土曜教育推進員を含む）・教育活動サポーター 放課後児童クラブ指導員 学校支援センター（学校支援地域本部）コーディネーター 学社連携推進担当教諭 各市町村教育委員会担当者等 [受講者数] 延べ参加者数 641名（参集111名 オンライン530名） ① 434名（参集80名 オンライン354名） ② 207名（参集31名 オンライン176名） [内容] 講義 ① 「集団の中で気になる子への接し方 ～発達障害の正しい理解と支援～」 講師：有賀 道生 氏（医療法人唯愛会 桐の木クリニック 院長） ② 「放課後の子供たちが安心してのびのび過ごせる場づくり～成長できる第三の居場所～」 講師：村上 祐介 氏（公益財団法人ぐんまYMCA 総主事）

3 少年科学教育の推進

(1) 少年科学館の運営

事業名	実施概要
科学展示室運営	<p>○展示物コーナー及び展示数： 「科学の基礎を学ぶ」15点、「生活を科学する」9点、「夢と遊び」7点、「特設コーナー」6点</p> <p>○しらべコーナー：科学に関する書籍等設置、DVD視聴</p> <p>○実験コーナー：第1、3～5土曜 14:30～15:30、特別イベント ・計画回数：39回、実施回数：39回、参加者数：2,265人</p> <p>○サイエンスショー：第2土曜 13:10～, 14:10～, 15:10～（各10分間） ・計画回数：10回、実施回数：10回、参加者数：523人</p> <p>○サイエンスボランティアコーナー：土・日・祝、特別イベント ・実施回数：56回、参加者数：2,727人</p>
プラネタリウム運営	<p>○プラネタリウム ・客席200席。通年の番組と季節ごとの番組を投影、番組冒頭に星座解説番組の投影を行う。投影時間は約40分。また、学校の教育活動に対応した「学習投影」を実施 ・観覧者総数：16,993人（学習投影3,586人）、利用校：98校園</p> <p>○天文コーナー「4次元デジタル宇宙」の上映（約25分） ・観覧者数：一般、計画回数：44回、実施回数：30回314人 ・学校等団体：19校1,006人</p> <p>○こども宇宙教室 ・7月25日、9月3日、1月28日 講師：ぐんま天文台職員他 参加者数：171人</p> <p>○天体観察会 ・*6月2日、*9月22日、*11月10日、3月15日：参加者数：118人 ・講師：群馬星の会 *天候不順のため中止</p> <p>○星空と音楽の集い ・毎月2回金曜日、土曜日に実施。参加者数：1,085人</p> <p>○親と子のプラネタリウム ・平日11:00に実施。実施計画数6回、実施回数：6回、参加者数：122人</p>
県プラネタリウム連絡協議会	<p>○群馬県プラネタリウム連絡協議会 ・県内プラネタリウム9館及びぐんま天文台で組織 ・協議会：4月13日、6月15日、9月21日、1月11日 ・zoom開催及び施設開催、参加者数：70人 ・スタンプラリー：7月8日～2月29日：参加者数：4,260人</p>
科学実験室運営	<p>・おもしろ科学教室等の実施や学校見学時の実験教室等の教育活動の支援に活用 ・一般利用：26,348人 ・団体利用：学校等（小中高特支校等）：2,435人（52校）</p>
学習プログラムの提案・実施	<p>○プログラム利用実績 ・幼：27園882人、小：56校2,831人、中：5校312人、特別支援学校：8校118人、高等学校、大学等：2校25人</p>

(2) 科学教育の普及

事業名	実施概要
おもしろ科学教室	<p>・県内関係機関と連携し県内全域で科学実験、野外観察等を実施 ・計画回数：73回（連携機関：39機関） ・実施回数：71回、参加者数：1,926人 ・「おもしろ科学教室教材集-34-」の作成（350部）・配布 ・ポスター作成（800部）・配布</p>

おもしろ科学教室(続)	<p>○科学教室運営協力者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月15日、オンライン開催：参加者数：14人 ・ 10月7日、オンライン開催：参加者数：9人 <p>○おもしろ科学教室事業連携機関担当者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月11日：参加者数：47人 ・ 10月12日：参加者数：44人 <p>○おもしろ科学教室冊子編集委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回センター開催：参加者数：62人
サイエンスインストラクターの会	<p>○総会・本部役員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会：2月18日、書面開催 ・ 本部役員会 Zoom 開催：2月18日、参加者数：27人
特別イベント	<p>○OGW 特別イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催期間：5月6日～7日(2日間)、参加者数：4,082人 ・ 協力団体による体験教室等実施 <p>○夏とくイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催期間：7月22日～27日※24日は除く(5日間) ・ おもしろ科学教室特別企画等実施 ・ 参加者数：9,116人 <p>○県民の日特別イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催期間：10月28～29日(2日間) ・ 協力団体による体験教室、おもしろ科学教室を実施 ・ 参加者数：5,089人 <p>○新年特別イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催期間：1月6日～7日 ・ 参加者数：3,339人

(3) 科学教育支援体制の整備・充実

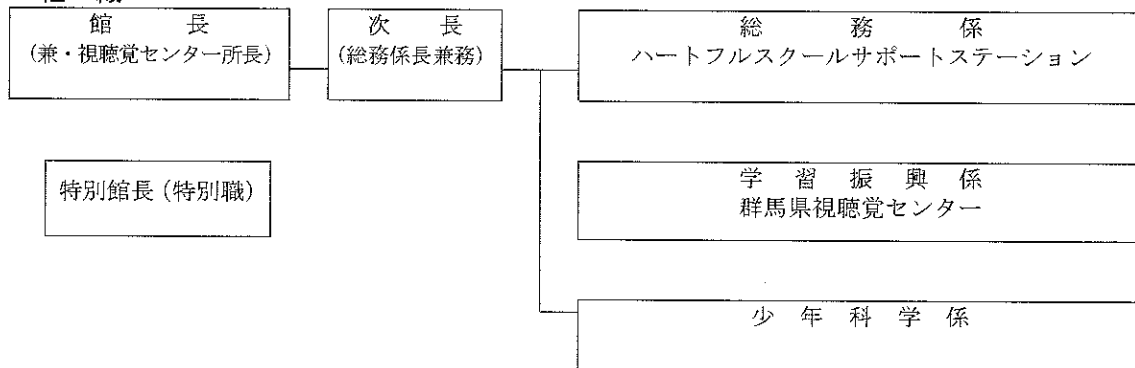
事業名	実施概要
学校外活動推進事業	<p>○科学教室指導者実技研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：2月17日：参加者数：33人 ・ 対象：サイエンスインストラクター、学校教職員、社会教育施設職員等 <p>○児童生徒理科研究相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：7月23日：参加者数：8人
他機関との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力団体登録：46団体 ・ 県内大学学生ボランティア：延べ205人

IV 組織の概要及び沿革

1 名称・所在地

群馬県生涯学習センター 前橋市文京町2-20-22
 電話 027-224-5700 FAX 027-221-5000
 URL https://gilcenter.gsn.ed.jp/

2 組織



3 職員数

※ () はハートフルスクールサポートステーションを別掲

	正規職員	会計年度任用職員	計
館長	1	—	1
特別館長	—	1 (特別職)	1
総務係	5 (1)	9 (2)	14 (3)
学習振興係	6	5	11
少年科学係	3	6	9
計	15 (1)	21 (2)	36 (3)

4 沿革

昭和 57 年 5 月 27 日	群馬県生涯教育体系化推進協議会を設置
昭和 59 年 6 月 4 日	群馬県生涯教育推進基本構想策定
昭和 59 年 11 月 19 日	群馬県生涯教育センター (仮称) 建設基本計画策定委員会を設置
昭和 62 年 3 月 17 日	群馬県生涯学習センターの設置及び管理に関する条例公布
昭和 62 年 10 月 28 日	群馬県生涯学習センター開館
昭和 63 年 4 月 1 日	群馬県生涯学習情報提供システム (パソコン通信方式) 運用開始
昭和 63 年 5 月 3 日	少年科学館科学展示室オープン
平成 元年 8 月 25 日	「ぐんま長寿学園 (専門課程)」開催 (～平成 13 年度)
平成 2 年 9 月 2 日	「おもしろ科学教室」開始
平成 3 年 3 月 2 日	群馬県生涯学習センター・サイエンスインストラクターの会設立
平成 3 年 10 月 19 日	入館者 100 万人達成
平成 5 年 7 月 2 日	「おもしろ科学教室」第 4 2 回読売教育賞最優秀賞を受賞
平成 8 年 3 月 22 日	入館者 200 万人達成
平成 9 年 9 月 14 日	群馬県生涯学習フェスティバル「まなびの祭典」開催 (～平成 13 年)
平成 9 年 11 月 8 日	少年科学館入館者 100 万人達成
平成 10 年 3 月 30 日	センター創立 10 周年記念誌「10 年のあゆみ」発行
平成 12 年 6 月 20 日	新・群馬県生涯学習情報提供システム「まなびねっとぐんま」(インターネット方式) 運用開始
平成 12 年 8 月 26 日	科学技術庁委託事業「青少年のための科学の祭典 (群馬大会)」開催 (26～27 日)
平成 12 年 9 月 1 日	「ぐんま県民カレッジ」開講
平成 13 年 1 月 17 日	入館者 300 万人達成
平成 13 年 7 月 28 日	「夏休みサイエンスウィーク」(毎年夏季休暇中約 1 週間のイベント) 開始
平成 14 年 4 月 1 日	群馬県教育文化事業団へ群馬県生涯学習センターの事務事業及び施設管理を委託
平成 14 年 7 月 28 日	群馬県生涯学習週間「まなびウィーク」開催 (「まなびの祭典」後継事業) (～平成 16 年)
平成 17 年 8 月 23 日	入館者 400 万人達成
平成 17 年 5 月 14 日	「おもしろ科学教室」10 万人達成
平成 18 年 4 月 1 日	平成 18 年度組織改正により県地域機関へ移行
平成 19 年 3 月 27 日	光の道北側に子どもたちの制作壁画「やまどりのゆめ」設置
平成 20 年 3 月 1 日	センター創立 20 周年記念誌「20 年のあゆみ」発行
平成 21 年 4 月 1 日	「まなびねっとぐんま」新システム運用開始
平成 21 年 10 月 1 日	入館者 500 万人達成
平成 25 年 10 月 23 日	入館者 600 万人達成
平成 26 年 2 月 21 日	少年科学館に「ぐんまちゃんのみしぎな部屋」(錯視原理利用の展示物) 設置
平成 27 年 3 月 7 日	中庭ウッドデッキ設置
平成 28 年 7 月 2 日	光学式プラネタリウムをデジタル式に更新
平成 29 年 10 月 8 日	入館者 700 万人達成
令和 4 年 4 月 1 日	ハートフルスクールサポートステーション設置

V 施設設備の概要

1 施設設備一覧

(1) 建設概要

- 敷地面積 26,582.44 m² ●建築面積 4,686.74 m² ●延床面積 10,360.28 m²
- 構造規模 鉄筋コンクリート一部鉄骨造4階建
- 工期(建築) 着工 昭和61年7月24日 竣工 昭和62年7月31日 (外構) 竣工 昭和62年10月15日
- 工事費等 総工事費 約25億円

(2) 施設設備一覧

区分	室名	面積 (m ²)	定員等 (人)	主な設備	
一階	多目的ホール	478.60	320	音響・照明設備、グランドピアノ、電動収納式座席(北・南110、東・西40)	
	多目的ホール控室	58.21	—	和洋折衷(和室7.5畳、座卓2、座椅子10)(洋室、長机6、椅子14)	
	創作活動作品展示室	153.12	—	展示パネル、展示用照明設備、展示ケース	
	ギャラリー	117.11	—	〃	
二階	会議室	90.91	30	円卓形式	
	情報相談フロア	374.30	—	AVブース(DVD16、CD1)	
	育児学習室	86.16	—	ベビーベッド、カーペット敷	
	保健室	14.63	—	ベビーベッド	
	視聴覚資料室	91.65	—	電動ラック、フィルム自動検査機	
	視聴覚機材保管修理室	20.02	—	スライド映写機、ビデオカメラ、OHP、液晶ビデオプロジェクター	
三階	第一趣味教養室	A	45.11	15畳	AB共同使用：座卓12脚(3人掛)、座布団40枚。茶道用炉はA
		B	45.11	15畳	
	第二趣味教養室	A	78.40	24脚	AB共同使用：座布団40枚、将棋駒30組、碁石30組。AB各7畳付
		B	73.67	18脚	
	創作実習室	A	85.93	37	美術用机・角椅子37
		B	85.93	37	作業机(6人掛)6、角椅子、陶芸用電気窯2
	視聴覚室	157.65	88	音響設備(ビデオプロジェクター、Blu-rayプレーヤー、マイク)	
	教育工学室	125.47	30	講習用パソコン16台	
第五研修室	49.11	30	長机(3人掛。第一～第五研修室とも同じ形式)		
四階	第一研修室	A	119.18	72	スクリーン、音響設備(ビデオプロジェクター、DVDプレーヤー、マイク) (設備操作盤はB)
		B	100.28	63	
	第二研修室	79.73	48	スクリーン、テレビ(放送視聴不能、DVD等再生のみ)、DVDプレーヤー	
	第三研修室	71.47	42	〃	
	第四研修室	52.14	30	〃	
	音楽スタジオ	148.87	60	グランドピアノ	
	音楽練習室	49.55	20	アップライトピアノ	
	音楽調整室	29.70	—		
	視聴覚スタジオ	99.48	—	スタジオ(防音)	
	視聴覚教材制作演習室	54.02	—	ビデオ編集システム、スライド作成機	
少年科学館	プラネタリウムホール	337.55	200	プラネタリウム投影装置、ステージ、音響、照明設備	
	プラネタリウムホール控室	25.17	—		
	科学実験室	95.72	36	ドラフトチャンバー、直・交流電流装置、生物・鉱物顕微鏡	
	科学展示室	658.00	—	実験コーナー、天文コーナー、マルチメディアコーナー、もしもしパラボラ、フライトシミュレータなど35点の展示物	
その他	体育館	1,409.20	—	バレーネット2、バドミントンネット6、卓球台10、長机10、パイプ椅子12	
	ウッドデッキ	143.00	—	県産木材使用、ベンチ8	
他	駐車場	—	—	来館者用351台	

2 施設利用

(1) 開館時間

- 生涯学習センター……9:00～22:00(日・祝休日は17:00まで)
- 少年科学館 ……9:30～12:00、13:00～17:00
- 情報相談フロア ……9:00～12:00、13:00～17:00

(2) 休館日

- 月曜日(祝休日の場合はその翌日) ・年末年始(12月27日～1月5日)
- 少年科学館のみ整備点検日(毎月1回火曜日)

*その他、開館時間・休館日は臨時に変更することがある。

(3) 利用申し込み方法

- 申し込みは、一般研修室・体育館は、3ヶ月前の同日、多目的ホールは6ヶ月前の同日より受け付け。創作活動作品展示室、ギャラリーは約6ヶ月前。体育館の個人利用については当日とし、団体による申し込みがない時間帯に限る。
- 使用料は、利用日の一週間前までに納め、それによって使用承認となる。原則として、使用承認後の返金等は行わない。
- プラネタリウムについては観覧券、体育館の個人利用については利用券を当日購入することで利用可能。

(4) 使用上の注意

- 責任者は、使用当日承認書を持参し、職員に提示し、指示を受ける。
- 体育館は、土足禁止のため、必ず室内用スポーツシューズにはきかえる。
- 茶器・水差し等は、事務室の窓口で貸し出す。なお、使用した茶器等は、洗い拭いてから、事務室の窓口へ返納する。

3 施設等使用料

令元. 10. 1～

○施設使用料

階	室名	定員(人)	午前 9:00-12:30		午後 13:00-17:00		夜間 17:30-22:00		一日 9:00-22:00	
			甲類	乙類	甲類	乙類	甲類	乙類	甲類	乙類
			第1研修室	A 72	2,140	4,280	2,855	5,710	3,170	6,340
	B 63	2,140	4,280	2,855	5,710	3,170	6,340	8,165	16,330	
	第2研修室	48	1,540	3,080	2,060	4,120	2,320	4,640	5,920	11,840
	第3研修室	42	1,350	2,700	1,870	3,740	2,060	4,120	5,280	10,560
	第4研修室	30	1,010	2,020	1,350	2,700	1,480	2,960	3,840	7,680
	音楽スタジオ	60	2,910	5,820	3,890	7,780	4,330	8,660	11,130	22,260
	音楽練習室	20	950	1,900	1,280	2,560	1,410	2,820	3,640	7,280
	視聴覚スタジオ	—	1,940	3,880	2,580	5,160	2,910	5,820	7,430	14,860
	第1趣味教養室	A 15畳	905	1,810	1,160	2,320	1,285	2,570	3,350	6,700
		B 15畳	905	1,810	1,160	2,320	1,285	2,570	3,350	6,700
	第2趣味教養室	A 24畳	1,680	3,360	2,260	4,520	2,510	5,020	6,450	12,900
		B 18畳	1,280	2,560	1,680	3,360	1,870	3,740	4,830	9,660
	視聴覚室	88	2,910	5,820	3,890	7,780	4,330	8,660	11,130	22,260
	教育工学室	30	950	1,900	1,280	2,560	1,410	2,820	3,640	7,280
	創作実習室	A 37	1,685	3,370	2,200	4,400	2,520	5,040	6,405	12,810
		B 37	1,685	3,370	2,200	4,400	2,520	5,040	6,405	12,810
	第5研修室	30	1,010	2,020	1,350	2,700	1,480	2,960	3,840	7,680
	会議室	30	3,550	7,100	4,720	9,440	5,310	10,620	13,580	27,160
	多目的ホール	320	5,900	11,800	7,860	15,720	8,840	17,680	22,600	45,200
	上記控室	—	1,070	2,140	1,480	2,960	1,680	3,360	4,230	8,460
	創作活動作品展示室	—	1,540	3,080	2,060	4,120	2,320	4,640	5,920	11,840
	ギャラリー	—	290	580	410	820	450	900	1,150	2,300
	体育館占有使用料	A —	1,250	2,500	1,450	2,900	1,615	3,230	4,315	8,630
		B —	1,250	2,500	1,450	2,900	1,615	3,230	4,315	8,630

○付属施設使用料

付属設備	使用料		備考	
	甲類	乙類		
ピアノ	多目的ホール	2,460	4,920	一台
	音楽スタジオ	1,680	3,360	
	音楽練習室	530	1,060	
電子オルガン	840	1,680	一台	
音響・視聴覚設備	第1研修室	570	1,140	一式
	視聴覚スタジオ	1,370	2,740	
	視聴覚室	700	1,400	
	工学室	L・L 1,060	2,120	
	多目的ホール	音響 1,140	2,280	
	照明 1,140	2,280		
展示パネル	30	60	一枚	
展示ケース	60	120	一基	
陶芸窯	A	360	720	一窯
	B	200	400	一窯

※上の使用料の額は午前、午後、夜間それぞれ一回の使用につき納付する額。

○観覧料等

プラネタリウム観覧料(1人につき)	区分	個人	団体(20人以上)
	一般	300	240

体育館個人使用料	区分	午前	午後	夜間	一日
	一般	340	340	340	1,020
特殊	170	170	170	510	

○甲類：生涯学習又は生涯学習に関する普及、啓発及び指導者養成等を行う団体が生涯学習の活動に使用する場合

○乙類：甲類以外の場合

○体育館個人利用において、小学生が使用の場合は、保護者同伴での利用となります。

4 視聴覚センター(2階)利用

(1) 視聴覚教材・機材貸出の種類と期間

① 種類

- ・教材 16ミリフィルム、ビデオテープ（著作権処理済みのもの）など1回について3本まで。
- ・機材 16ミリ映写機、プロジェクター、DVD・BDプレーヤー、CDデッキ、ノートパソコン、ケーブル類、その他

② 期間

- ・貸出期間 教材・機材ともに休館日を除いて5日間まで
*休館日は月曜日（祝休日の場合は翌日）と年末年始（12月27日～1月5日）
- ・取扱時間 9時～17時

(2) 貸出方法

教材・機材の借用には印鑑が必要。なお、16ミリフィルム・16ミリ映写機の借用については、「16ミリ映写機操作技術認定証」が必要。

〔問い合わせ先〕 電話 027-224-5700（内線230）

① 予約

- ・3ヶ月前から予約可能。
- ・予約時に、以下の事項を連絡する。
 - (a) 利用者名（機関、施設名、団体又はグループ名、事業所名等）
 - (b) 利用教材、機材（教材の登録番号と題名、機材名）
 - (c) 利用期間（受取日から返却日）
- ・直接来館した場合は、その場で貸出可能（貸出中や予約済みのものを除く）。

② 受取

- ・教材・機材の受け渡しは、生涯学習センター2階情報相談フロアのカウンターで行う。
- ・「視聴覚教材等利用申込書」に必要事項を記入し提出。
- ・教材・機材ともに「視聴覚教材等利用報告書」を受け取る。（返却日に提出）

③ 返却

- ・借用した教材・機材と必要事項を記入した「視聴覚教材等利用報告書」を、生涯学習センター2階サービスカウンターに持参。

④ その他

- ・利用期間を変更したい場合は、変更が可能であるかどうかを必ず電話で確認。
- ・教材、機材の受け取り、返却は宅配便（料金利用者負担）の利用も可能。

(3) 利用上の留意事項

- ・フィルムが切れた場合は、切れた箇所に目印の紙などをはさんで、返却時に報告。
- ・使用する前に機材の事前点検を行う。
- ・映写機の操作は、「16ミリ映写機操作技術認定証」を所有する者が行う。
- ・映写終了後はフィルムやテープを巻き戻し、入っていたケースに入れて返納する。
- ・営利目的には使用できない。

(4) 教材・機材保有数（令和5年4月1日現在）

○ 視聴覚教材保有数

区分	館外貸出用			館内貸出用		
	16ミリフィルム	VHS	DVD	CD	LD	DVD
保有数	2,008本	2,332本	2,011枚	1,194枚	281枚	2,452枚

○ 視聴覚機材保有数

① 視聴覚機材保管修理室（貸出可）

16ミリ映写機	4台	DVD/CDプレーヤー	1台	スピーカーシステム	3台	CRTケーブル	3本
16ミリ映写機リモコン	3台	CDラジカセ	3台	マイク	1台	HDMIケーブル	3本
16ミリ映写機チェンジオーバー	1台	CDMDラジオ	1台	デジタルビデオカメラ	2台	音声ケーブル	10本
8ミリ映写機	1台	CDシステム	1台	デジタル一眼レフカメラ	1	USBケーブル	1本
映写機ズームレンズ	1台	移動式スクリーン	6台	ストロボ	1台	DVDコピーマシーン	1台
映写機アナモルフィックレンズ	1台	ノートパソコン	5台	レーザーポインター	2台	Wifiルーター	1台
テープスライサー	2台	VHSビデオデッキ	1台	電源延長コード	9本	Webカメラ	1台
プロジェクター	9台	Hi8ビデオデッキ	1台	ジェンダーチェンジャー	2台	SDI-USBコンバーター	1本
DVDプレーヤー	1台	OHC（資料提示装置）	2台	変換コード	7本		
DVD/BDプレーヤー	3台	スライド映写機	2台	変換プラグ	4本		

② 視聴覚資料室

16ミリテレシネ装置(故障中)	1台	VHSビデオカメラ	2台
フィルム自動検査機(故障中)	1台	VHS/HDD/DVDデッキ	1台
パーフォレーション補修機(故障中)	1台	ビデオフロッピーレコーダー	1台
8ミリテレシネ装置(故障中)	1台	ビデオディスク (VHD)	1台
カラープリンター	1台		

③ 教育工学室

サーバ・パソコン	1台	カラーレーザープリンター	1台
学習用パソコン	16台	モノクロレーザープリンター	1台

④ 視聴覚教材制作演習室

16フィルムスキャナー(スキャナ本体、PC、外付ハードディスク2、他)	1式
-------------------------------------	----

5 情報相談フロア(2階)利用

(1) 情報相談フロア(生涯学習図書資料コーナー、視聴コーナー)

生涯学習に関連した資料・パンフレット等の閲覧及びビデオ・CD等の視聴ができるコーナーを設置。

○利用時間：9時～12時、13時～17時(休館日を除く毎日)

(2) 生涯学習相談

生涯学習に関連した活動についての相談を行う。

○相談日時：9時～17時(休館日を除く毎日)

○相談方法：電話、FAX、面接、手紙、E-mail

○相談場所：生涯学習センター2階情報相談フロア受付

電話：027-224-3541 FAX：027-224-3542

(3) 育児学習室

乳幼児同士の遊び、ふれあい、親同士の情報交換の場を提供する。

○利用日時：9時30分～12時、13時～17時(休館日を除く毎日)

(4) 子育て支援活動

ボランティアによる育児相談や乳幼児の遊び等の活動を行う。

○活動日時：火曜日～土曜日 10時00分～11時30分 テーマ別相談：金曜日 9時30分～16時

○活動場所：生涯学習センター 育児学習室(2階)

6 少年科学館利用

(1) 利用案内

- ・開館時間 9:30～12:00、13:00～17:00
- ・入館料 無料(プラネタリウムは有料。中学生以下は無料)
- ・休館日
 - ・毎週月曜日(祝休日の場合はその翌日)
 - ・年末年始(12月27日～1月5日)
 - ・整備点検日(毎月1回火曜日) ※その他、臨時に休館する場合もあり
- ・問合せ先 電話 027-224-5700(代表) FAX 027-221-5000

(2) 主な業務について

① 科学展示

- ・科学展示物(下図)
- ・実験コーナー…科学の驚きや楽しさ、達成感を味わえるように、科学工作等を実施。

② プラネタリウム

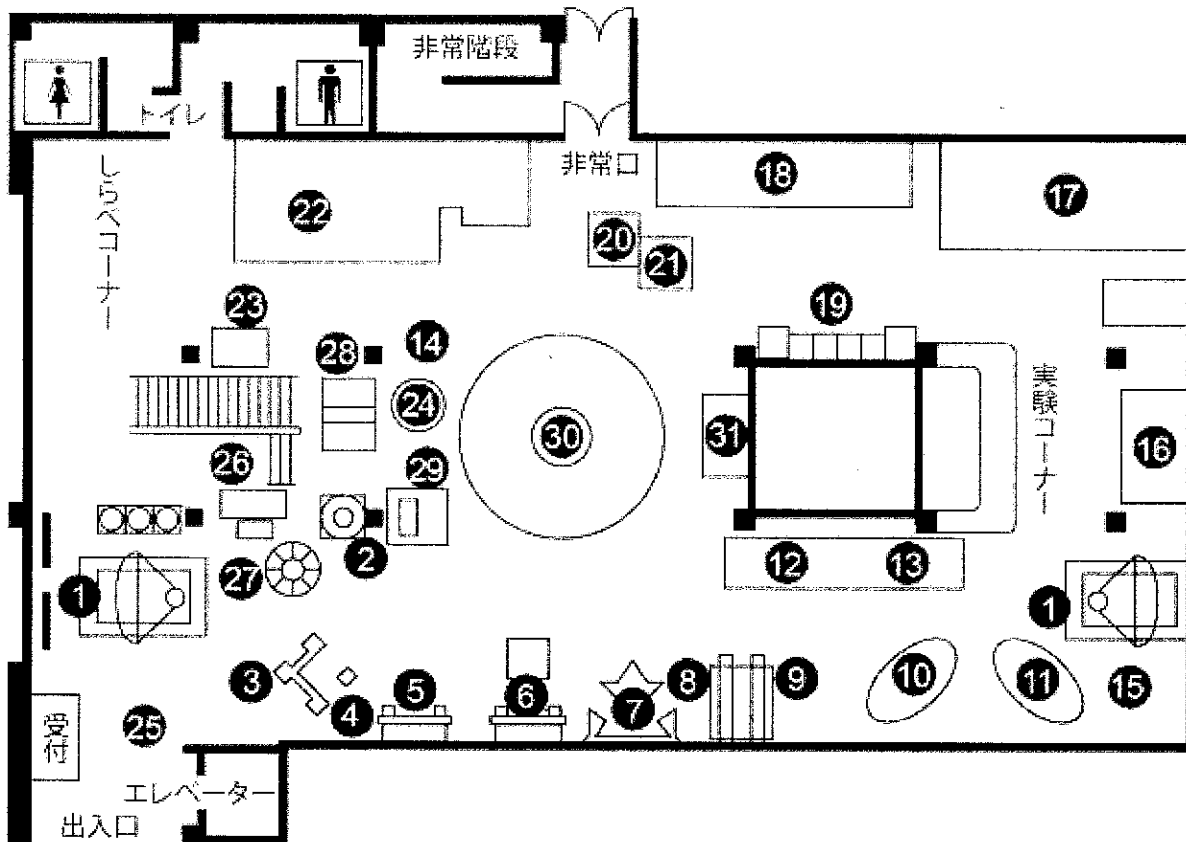
- ・一般投影(定員200人、観覧料大人300円、中学生以下は無料)
 - 季節の星座や宇宙について物語風に紹介
- ・学習投影(要予約、学校・園等の団体専用、観覧料免除)
 - 幼児、児童、生徒等を対象とした職員の手動による投影
- ・天文コーナー…立体映像が見えるメガネをかけて、4次元の宇宙を体験できるコーナー

(3) おもしろ科学教室(事前申込みが必要。主に土曜日に開催。9:30から2時間程度)

- 公民館等の教育機関と連携し、年間を通して小・中学生を対象に科学教室を県内各地で開催
- 内容…科学する心が育めるような科学工作や自然観察等

(4) 少年科学館フロア図

◆1階く科学展示室・実験コーナー・しらべコーナー>



■主な科学展示

【科学の基礎を学ぶコーナー】

①もしもしパラボラ、②つかんでごらん、③のびたり、ちぢんだり、④空中散歩、⑤光の足跡、⑥建物のフラダンス、⑦分身の術、⑧毛虫の前進、⑨ヘビの前進、⑩マグネットマジック、⑪サウンドマジック、⑫メイクイットバランス、⑬働きものの滑車、⑭パラボラゴルフ、⑮ボールレース

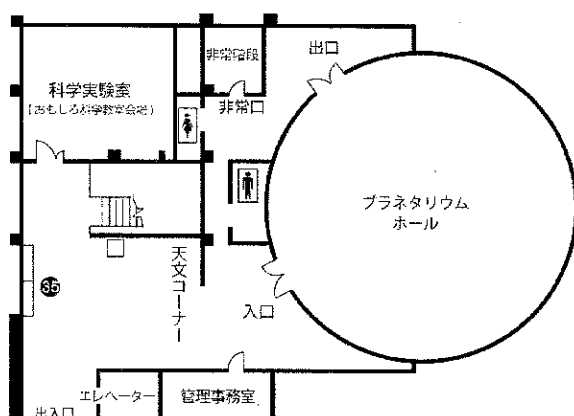
【生活を科学するコーナー】

⑯空っ風発電、⑰フライトシミュレータ、⑱発信！地球冒険号Ⅱ、⑲災害用伝言ダイヤル(171)、⑳地球の自転、㉑科学館が動いています、㉒車のしくみマジックシアター、㉓エンジンのしくみ、㉔アイサイトタワー

【夢と遊びのコーナー】

㉕ロボット「ひかる」、㉖かごの中で羽ばたく鳥、㉗ダンシングハーブ、㉘ふしぎな鏡、㉙音のたし算、㉚マルチメディアコーナー、㉛ひかるくんのふしぎな部屋

◆2階くプラネタリウムホール・宇宙科学のコーナー>



VI 資料

○群馬県生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

(昭和62年3月17日条例第5号)

最終改正 平成31年3月22日条例第5号

(趣旨)

第1条 この条例は、群馬県生涯学習センターの設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 県民の生涯にわたる学習活動を促進し、もつて県民文化の創造及び振興に寄与するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、群馬県生涯学習センター(以下「生涯学習センター」という。)を前橋市に設置する。

(視聴覚センター等)

第3条 生涯学習センターに、視聴覚センター及び少年科学館を置く。

(業務)

第4条 生涯学習センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の研修及び養成に関すること。
- (2) 生涯学習に関する講座等の開設に関すること。
- (3) 生涯学習に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供に関すること。
- (4) 生涯学習及び家庭教育の相談に関すること。
- (5) 視聴覚教育に関する指導、助言及び研修に関すること。
- (6) 視聴覚教育に関する調査、研究、教材の制作及び情報の提供に関すること。
- (7) 視聴覚教育に関する機材及び教材の整備及び利用に関すること。
- (8) 科学に関する資料及び装置の展示に関すること。
- (9) プラネタリウムによる天体運行等の投影に関すること。
- (10) 科学に関する実験、実習及び講座等の開設に関すること。
- (11) 前各号に掲げるもののほか、生涯学習センターの目的を達成するために必要な業務

(職員)

第5条 生涯学習センターに、館長その他必要な職員を置く。

2 視聴覚センターに、所長その他必要な職員を置く。

(使用の承認)

第6条 生涯学習センターを使用しようとする者は、群馬県教育委員会(以下「委員会」という。)の承認を得なければならない。

2 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の承認を与えないことができる。

- (1) 専ら営利を目的とする行事を行うとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設又は付属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他生涯学習センターの管理上支障があると認められるとき。

(使用の承認の取消し等)

第7条 委員会は、前条第1項の承認を得た者(以下「使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、その使用を制限し、若しくは停止させ、又はその承認を取り消すことができる。

- (1) 前条第2項各号のいずれかに該当するに至つたとき。
- (2) 使用の承認を得た目的外に生涯学習センターを使用したとき。

(使用料等の納付)

第8条 使用者は、別表第1に掲げる額の使用料を納付しなければならない。

2 前項の使用料は、第6条第1項の承認を受ける際に納付するものとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

3 プラネタリウムによる天体運行等の投影を観覧しようとする者は、別表第2に掲げる額の観覧料を納付しなければならない。ただし、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程及びこれらに類する学校その他の施設の児童及び生徒並びに小学校就学の始期に達するまでの者に係る観覧料については、無料とする。

(使用料等の返還)

第9条 納付した使用料又は観覧料は、返還しない。ただし、使用者の責めに帰さない理由により使用することができなくなつた場合は、この限りでない。

(使用料等の減免)

第10条 知事は、規則で定めるところにより、使用料又は観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(管理の委託)

第11条 委員会は、教育文化の振興を目的とする法人に生涯学習センターの管理を委託することができる。

(委任)

第12条 この条例に定めるもののほか、生涯学習センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 (以下省略)

群馬県生涯学習センター入館者数

令和5年度
()内は前年度数

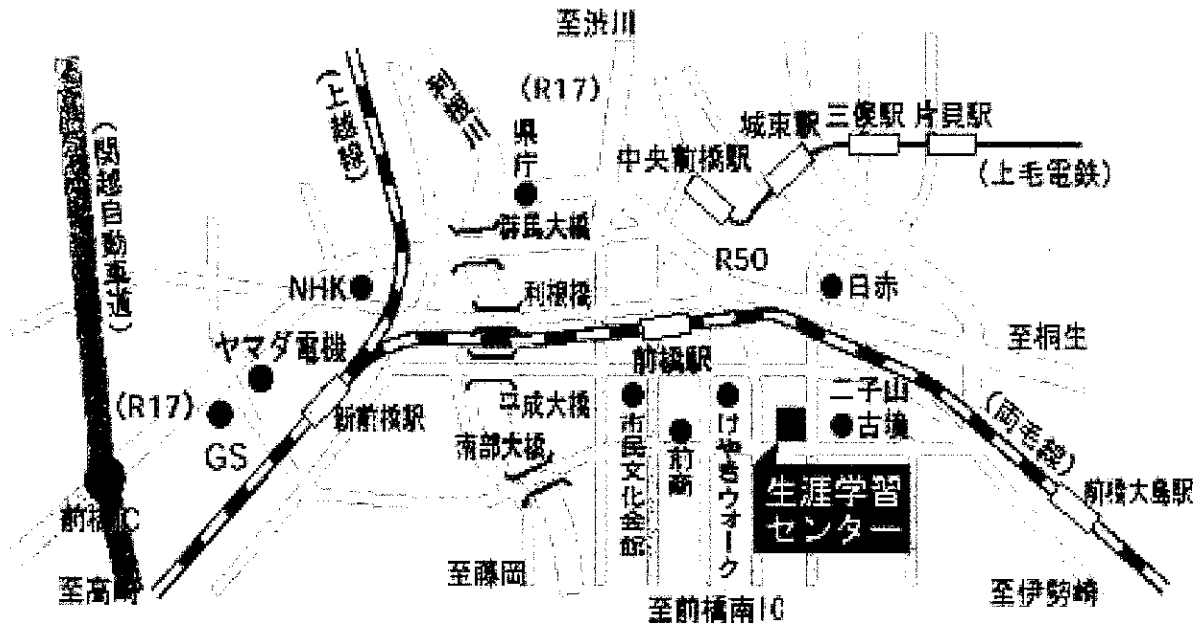
	開館日数	生涯学習センター								館外事業	
		総計	[累計]	貸し館	2階学習フロア	少年科学館			参加者数	[累計]	
						合計	プラネタリウム	展示室			実験室
27年度計	306	260,500	6,578,057	144,800	24,354	91,316	16,864	67,867	6,615	4,049	552,989
28年度計	304	277,489	6,855,546	155,593	25,663	96,233	21,816	51,452	22,965	3,809	566,798
29年度計	304	247,512	7,103,058	141,411	25,315	80,783	17,958	46,329	16,496	3,744	560,542
30年度計	304	263,181	7,366,242	142,465	31,830	88,889	20,139	48,489	20,261	3,203	563,745
31年度計	280	255,364	7,621,606	125,758	40,128	89,478	19,099	45,182	25,197	2,800	566,545
R2年度計	252	45,327	7,666,933	29,030	4,824	11,473	4,492	4,420	2,561	413	566,958
R3年度計	305	78,712	7,745,645	42,436	5,744	30,532	6,579	12,350	11,603	491	567,449
R4年度計	304	142,139	7,887,784	62,197	13,593	66,349	16,131	29,703	20,515	1,352	568,801
4月	26	12,246 (6,839)	7,900,030	6,368 (4,254)	1,371 (531)	4,507 (2,054)	1,247 (569)	2,591 (1,141)	669 (344)	0 (0)	568,801
5月	26	19,076 (13,155)	7,919,106	9,371 (6,441)	1,285 (900)	8,420 (5,814)	1,771 (1,047)	3,565 (2,382)	3,084 (2,385)	169 (187)	568,970
6月	26	14,142 (10,572)	7,933,248	7,321 (5,267)	1,431 (1,113)	5,390 (4,192)	1,511 (1,457)	2,863 (2,177)	1,016 (558)	303 (260)	569,273
7月	26	25,956 (20,797)	7,959,204	8,438 (6,847)	2,950 (1,776)	14,568 (12,174)	2,006 (2,389)	5,456 (4,369)	7,106 (5,416)	358 (283)	569,631
8月	27	18,750 (13,319)	7,977,954	5,882 (3,974)	2,714 (1,646)	10,154 (7,699)	2,337 (2,236)	6,319 (4,138)	1,498 (1,325)	110 (61)	569,741
9月	26	15,755 (11,886)	7,993,709	7,234 (4,924)	1,775 (1,274)	6,746 (5,688)	1,640 (1,613)	3,246 (2,779)	1,860 (1,296)	94 (80)	569,835
10月	26	22,280 (15,866)	8,015,989	9,669 (6,311)	2,046 (1,019)	10,565 (8,536)	2,009 (1,573)	3,907 (2,726)	4,649 (4,237)	77 (103)	569,912
11月	26	13,828 (10,778)	8,029,817	8,217 (6,042)	1,334 (935)	4,277 (3,801)	928 (1,142)	2,355 (1,928)	994 (731)	171 (132)	570,083
12月	22	8,809 (6,438)	8,038,626	4,896 (3,472)	1,054 (799)	2,859 (2,167)	623 (578)	1,653 (1,108)	583 (481)	99 (63)	570,182
1月	22	15,581 (10,678)	8,054,207	6,530 (3,925)	1,757 (1,049)	7,294 (5,704)	1,085 (1,106)	3,129 (2,198)	3,080 (2,400)	43 (40)	570,225
2月	25	12,069 (9,822)	8,066,276	5,794 (4,623)	1,796 (1,120)	4,479 (4,079)	890 (1,177)	2,673 (2,238)	916 (664)	161 (143)	570,386
3月	27	12,813 (11,989)	8,079,089	6,020 (6,117)	1,628 (1,431)	5,165 (4,441)	946 (1,244)	3,326 (2,519)	893 (678)	0 (0)	570,386
5年度累計	305	191,305 (142,139)	8,079,089	85,740 (62,197)	21,141 (13,593)	84,424 (66,349)	16,993 (16,131)	41,083 (29,703)	26,348 (20,515)	1,585 (1,352)	570,386

令和6年度生涯学習センター職員名簿

(令和6年4月1日現在)

	係名	職名	氏名
1		館長(事)	山口 明
2		特別館長(特別職)	村山 義久
3	総務係	次長(総務係長)	橋爪 光明
4	職員5+会計年度9	主幹(総括)(係長)(技)	金子 正弘
5		主幹(総括)(事)	古屋 達夫
6		主任(事)	佐藤 博之
7		主任(事)	浅野 友季恵
8		会計年度任用職員(第3種)	赤澤 正二
9		会計年度任用職員(第3種)	関口 章
10		会計年度任用職員(第3種)	富澤 孝
11		会計年度任用職員(第2種)	嶋田 多津子
12		会計年度任用職員(第2種)	堀内 宏子
13		会計年度任用職員(第2種)	板井 由美子
14		会計年度任用職員(第2種)	今瀬 ゆかり
15		会計年度任用職員(障害者枠)	高橋 洋介
16		会計年度任用職員(障害者就労相談員)	金井塚 国芳
17	ハートフルスクールサポートステーション	主幹専門員(再任用短時間)	筑井 博之
18	職員1+会計年度2	会計年度任用職員(障害者就労支援員)	齋藤 三恵子
19		会計年度任用職員(第3種)	廣神 剛史
20	学習振興係	補佐(学習振興係長)	根岸 直之
21	職員7+会計年度5	社会教育主事(総括)	平井 厚
22		社会教育主事(主幹)	竹内 正則
23		社会教育主事(副主幹)	富澤 涉
24		主幹専門員(再任用全時間)	高山 美知香
25		主幹専門員(再任用短時間)	清水 仁
26		会計年度任用職員(第3種)	阿部 昌江
27		会計年度任用職員(第3種)	榎 美波
28		会計年度任用職員(第2種)	佐藤 千晶
29		会計年度任用職員(第2種)	石井 礼子
30		会計年度任用職員(第2種)	今泉 綾佳
31	少年科学係	補佐(少年科学係長)	水沼 憲子
32	職員3+会計年度6	指導主事(総括)	鶴淵 道人
33		指導主事(総括)	橋本 恵士
34		会計年度任用職員(第3種)	飯島 仁志
35		会計年度任用職員(第3種)	中野 智弘
36		会計年度任用職員(第3種)	浅見 一秋
37		会計年度任用職員(第2種)	横堀 竹美
38		会計年度任用職員(第2種)	伊藤 順子
39		会計年度任用職員(第2種)	榎本 冴百合

群馬県生涯学習センター周辺略図



◇高崎方面及び関越道前橋ICから

国道17号「元総社町南交差点」右折後、道なりに進行、「南部大橋」を渡り、「生川」交差点直進、前橋商業高校を左手に見て「天川原町」交差点の「次」の信号直進後左側（案内板あり）

◇桐生方面から

国道50号「朝日町西」交差点左折後直進（途中道幅狭い箇所あり）、左側に前橋市立天川小学校を見る交差点。天川小学校斜め向かい。

◇JR前橋駅から

徒歩約20分、タクシー約5分

◇路線バス

- ・日本中央バス 広瀬東善線：天川小学校入口下車徒歩約6分
- ・群馬バス（前橋駅⇄日赤病院）：生涯学習センター前下車徒歩約1分
- ・永井バス（前橋公園⇄下川団地）：生涯学習センター前下車徒歩約1分
- ・永井バス マイバス東循環：生涯学習センター前下車徒歩約1分

◇駐車場：351台（団体バスは南側駐車場へ）

編集・発行 群馬県生涯学習センター
〒371-0801 前橋市文京町2-20-22
電話 027-224-5700 FAX 027-221-5000
URL <http://gllcenter.gsn.ed.jp/>
e-mail gllcenter@pref.gunma.lg.jp